

【開催報告】第24回 竹と月夜の調べ

開催日時:2024年10月20日(日)18:00~20:00

開催場所:別府市竹細工伝統産業会館(別府市東荘園8丁目2-13)

10月20日(日)、第24回 竹と月夜の調べ を開催しました。

本来は、10月19日(土)に開催する予定でしたが、雨が予報されたため、一部内容を変更した上で、翌日10月20日(日)に延期開催となりました。

当日の天気は曇りでしたが、幻想的な竹あかりによる装飾と、大竹かごの制作実演、演奏会やくじ引き等のイベントを行い、約250名の方にご来場いただきました。

今回は、別府市制100周年と別府市竹細工伝統産業会館の開館30周年との両方を記念して開催しました。

竹細工伝統産業会館の2階の特設ステージでは、初めに、竹細工伝統産業会館の運営に、長年ご尽力いただいた功労者4名の方々に対し、主催者である竹・ルネサンス実行委員会会長から感謝状を贈呈しました。



(左から) 亀井学氏、油布昌考氏、園田展久氏、向功彦氏

続いて、大竹かごの制作は、別府竹製品協同組合の伝統工芸士である、松田浩樹さんと亀井真次さんが行いました。

長さ3メートル、幅2.5cmの大きなひごを使い、お二人で息を合わせて大竹かご「四海波」を編み上げ、観客の皆様から大きな拍手をいただきました。



四海波を編み上げる亀井さんと松田さん

演奏会では、塩地亜希子さんによるピアノの演奏が披露されました。

ドビュッシー作曲「月の光」など6曲が披露され、観客の方々も美しい音色に聞き入っていらっしゃいました。



塩地亜希子さんによる演奏会の様子

また、今回は、記念の行事として特別に、別府竹製品協同組合の竹細工職人が制作された竹製品と別府竹製品卸商業組合の組合員による素敵な景品が当選する「くじ引き大会」を行いました。伝統工芸士が製作した花かごなどの竹製品やさまざまな景品を手にした方から喜びの言葉をいただきました。

今回初めて設置した飲食ブースでは、クロッフルや紅茶、コーヒーなどの販売が行われ、ご来場いただいた皆さん飲食されながら幻想的な竹あかりを楽しんでいただきました。



そして、別府市竹細工伝統産業会館では、今回も、イベント開催時間にあわせて特別会館を行いました。当日は、現役の伝統工芸士16名による素晴らしい作品を展示する特別展「TEWAZA」も開催中で、133名の方に、常設展示と共に鑑賞していただきました。

延期開催にも関わらず、多数の皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。

*来場者数:約250名(参考:昨年度 約400名)

